

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:令和5年 2月28日

事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービス レプタ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	L字型の構造を活かし、自発・放デイと空間を分けたり、広さを活かして運動レクリエーションを取り入れている。	広いスペースが確保されている。利用中の様子を見ていないのでわからない。とご回答いただきました。	コロナ禍でなかなか参観いただく機会がなかった為、お子様の利用中の様子など参観していただく機会を設けたいと思います。
	2 職員の適切な配置	配置基準+1名以上の職員配置をしております。	十分いらっしゃると思います。利用中をみていないからわからない。とご回答いただきました。	保護者様に対して、適宜、適切な人員配置をしていることをお伝えするようにします。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーに関しては教室内は段差なく、すべてスライドドアになっています。ホワイトボードにタイムスケジュールを掲示して、子どもが落ち着いてすごせるよう工夫しています。	シンプルでわかりやすい空間だと思います。とご回答いただきました。	情報伝達等に配慮した環境については、今後も障がい特性を意識し、どんどん改善していきたいと思います。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃はもちろん、利用中も適度に共有スペースの消毒や清掃を行っています。	いつ見ても清潔にされていると思います。とご回答いただきました。	子どもたちが安心してすごせるスペースの確保と、清掃、設備や備品等の除菌・消毒を続けてまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的に対象児童のモニタリングを行い、個別支援計画に沿った支援ができていますか職員で検討しています。日頃から意見交換も行っていきます。		個別支援に関してはもちろんですが、週末のイベント等についてもPDCAサイクルを行ってまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は、今のところ行っていません。		今後検討してまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	会社からの研修の案内もあれば、職員からの「この研修参加したい」という声に積極的に答えるようにしています。		職員の資質向上にむけて、研修の案内、また職員からの積極的な研修参加の意思を尊重し、機会の確保に努めてまいります。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントに基づき計画の作成を行っています。		最初の面談でアセスメントを丁寧に行うことで、保護者と児童本人のニーズや課題に沿った支援計画を作成するように努めます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別療育と集団療育を組み合わせ支援計画を作成しています。言語聴覚士(ST)や心理士が専門を活かした個別療育も行ってまいります。	本人の能力に合わせてくれている。学校ではできないことをしっかり指導してくれている。事業所での様子を詳しく教えてもらえるので子どもと話し合う機会が増えた。など、嬉しいご回答をいただきました。	児童一人一人に寄り添い、状況に応じた個別療育や集団活動ができるように支援していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	社会性、生活や学習面の児童本人に関わる支援と、保護者さまご家族さまに対する支援を含めて支援計画を作成しています。		今後も児童と保護者のニーズに合わせて、具体的かつ分かりやすい支援計画書の作成に努めてまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に基づいて、支援を実施しております。	ご回答いただいたほぼ全ての方が「はい」の項目を選択されていました。いつもありがとうございます。と、嬉しいお言葉をいただいております。	全てのご利用者さまに「はい」の項目を選択していただけるように、計画書に基づいた支援と、適宜保護者さまへお話をさせていただくように努めてまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全員で話し合いプログラムを組んでいます。		今後ともさまざまなプログラムを立案できるように職員間で話し合っております。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学習面の支援や運動レクリエーションを行っています。休日は主に外出支援を行い、公共交通を利用するなど社会性を学べるように努めています。長期休暇は利用時間が長いため、支援だけでなく楽しく過ごせるようにプログラムを考えています。	ご回答いただいたほぼ全ての方が「はい」の項目を選択されています。毎回子どもが楽しそうに行っています。外出支援で色々な所に行き接する機会があります。とご回答いただきました。	利用時間や状況に応じて、きめ細やかな支援に努めてまいります。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムが固定化しないよう意見を出し合っています。また季節ごとの行事(クリスマス・お餅つき・節分等)集団で活動できるプログラムを企画、実施しています。		多彩なプログラムで固定化しないように工夫してまいります。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼や利用開始時間までに職員同士で情報共有を行い、確認するようにしています。		職員同士で情報共有し、支援内容の方向性がずれないように努め、児童の状態に応じて対応できるように努めてまいります。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	児童が帰ってから、その日の児童の状態等を日報に記載して、職員全員で共有しています。		保育園・幼稚園・学校の先生方から伺った内容や、連絡帳や送迎時に口頭で保護者さまから伺った内容も、徹底して情報共有していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	正確に記載していくようにしています。		正確な記録を徹底し、支援の検証・改善を図ります。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリングを定期的に行い、現状把握と支援の内容について話し合い、計画の見直しを行っています。		定期的に支援の内容について話し合い、計画を見直しを行い、個別支援計画に沿って支援していきます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所の方との関わりも増え、情報交換などやりとりしています。		担当者会議への参画は今のところありませんが、今後とも連携を図ります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	発熱等、急変時に対する対応等を緊急連絡帳やアセスメントに記載いただくことでいつでも対応できるように努めています。		今後とも関係機関と連携した支援を行ってまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアに関して医師の指示書、意見書をいただき、また保護者様からも詳細を確認後に、医療的ケアを実施しています。		今後とも保護者様から詳細をお伺いし、また主治医等の連絡体制を整え、医師の指示書や意見書のもと、医療的ケアの実施に努めます。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	不定期に電話や訪問等を行い、情報交換および共有をおこなっています。		今は不定期だが、今後は定期的に電話や訪問等での情報交換を行い、円滑な移行支援のため情報を共有していきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、該当する児童は在籍しておりません。		今後在籍する児童が該当した場合には、情報交換を行い、円滑な移行支援のための情報を共有していきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達の専門機関は、定期的に通っている利用者の保護者様を通じて情報共有をさせていただいております。		専門機関と連携し、また専門機関での研修も積極的にしようとしていきたいです。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度はコロナ禍もあり、交流する機会をもつことはできませんでした。	ご回答いただいたほぼ全ての方が「わからない」の項目を選択されていました。	コロナの影響もあり、なかなか機会を持つことができていませんが、少しずつ交流や活動を増やしていけたらと考えております。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナの影響により、保護者の招待、地域住民との交流等、実施しておりません。	コロナの影響もあると思う。コロナが落ち着いたら参観等あれば嬉しいです。と、ご回答いただきました。	コロナの影響もあり、なかなか機会を持つことができていませんが、少しずつ交流や活動を増やしていけたらと考えております。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約の際に支援内容や利用者負担等を説明させていただいております。	良心的に説明してもらいました。1回利用したらいくらかかるのか、細かく知れたらいいと思います。と、ご回答いただきました。	契約の際に出来るだけわかりやすい説明を心掛けるように努めます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者様に個別支援計画書をご確認いただき、支援の内容を説明しご同意をいただいております。	説明してもらいました。今回初めて利用して半年たった分の説明を受けます。と、ご回答いただきました。	保護者様へ丁寧な説明を心掛け、支援計画書をご確認いただき合意を得るように努めます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者様に対する助言等は難しい面もあると考えておりますが、ご家庭での取り組みを協働させていただきつつ、こちらから提言等をさせていただきます。	「はい」「いいえ」「どちらともいえない」「わからない」どの項目もほぼ均一に選択されました。	必要に応じて保護者様と面談を行い、子育てに関する適切な提言をさせていただきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者の方とご家庭での様子など日頃から情報交換しています。送迎時にお伝えしきれないときは、メッセージやお電話にてお伝えさせていただきます。	定期受診前に最近の様子などを書面で作成していただきました。利用時の様子など色々話して下さり子どもと話し合ってきています。とご回答いただきました。	今後も保護者様に利用時の児童の様子や活動内容などをお伝えし、共通理解の徹底に努めてまいります。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて面談する機会を設けています。またこちらからお声掛けが出来るように努めています。	こちらの質問に丁寧に対応してくれる。とご回答いただきました。	今後とも保護者の方から悩みなど相談しやすい雰囲気づくりや、こちらからのお声掛けを続けてまいります。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は実施できておりません。	コロナの影響もあると思う。と、ご回答いただきました。	ご家族同士が交流できるような催し物を今後企画していきたいと思っております。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご要望や改善のご意見をいただいた際には、速やかに改善に努めます。	苦情をいったことがない。とご回答いただきました。	適切な運営に努め、迅速に対応できるように取り組んでまいります。
	8 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮	電話やメール、連絡帳を活用しながらやり取りをおこなっております。	ご回答いただいたほぼ全ての方が「はい」の項目を選択されていました。	今後とも意思疎通をしっかりと行ってまいります。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動内容をブログやSNSを通じて発信させていただいております。	行事予定をもう少し早くわかるとありがたいな。とご回答いただいております。	実施したイベント等の配信は行っているが、行事予定など早めにご連絡できるように努めてまいります。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いに関しては細心の注意を払い、管理を行っております。また職員は入社時に秘密事項誓約書に署名し、就業規則にも定めております。	ご回答いただいたほぼ全ての方が「はい」の項目を選択されていました。	今後も、個人情報の取扱いに関しては細心の注意を払っていくように努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員向けにマニュアルの周知や施設内研修を行っておりますが、保護者への周知はできていないのが現状です。	「わからない」とご回答された方が半数でした	保護者向けに、各種マニュアルの周知を検討してまいります。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員全員で避難経路の確認、流れの把握を行っております。職員と児童で避難訓練の実施は行っております。	ご回答いただいたほぼ全ての方が「わからない」の項目を選択されていました。	保護者様への周知が不十分のため、今後避難訓練実施のご案内など発信してまいります。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	施設内研修は行っております。		今後は外部研修にも目を向けて、見識を深めていけるよう努めてまいります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	事前にこのような場合の対応について職員間で情報共有しています。また、やむを得ない場合、身体拘束を行う場合があると、同意書をいただいております。		今後ともやむを得ない場合には身体拘束を行う可能性があるかと、保護者様に十分な理解をして頂けるよう努めていきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーの有無など必ず用紙に記入いただいております。アレルギーがある場合(解除された場合もふくめ)、提供可能範囲を保護者様に必ず確認させていただきます。		引き続きアレルギーの有無などは事前に確認し、適切な対応を徹底してまいります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット用紙に職員が記入し、全職員が閲覧できるファイルに保管しております。朝礼等で口頭報告し、用紙の確認や職員間で情報共有を行っております。		ヒヤリハット事例の記録と情報共有を行い、事故防止に努めてまいります。